

認知症介護肯定感尺度 21 項目版 家族介護者用の解説書

■認知症介護肯定感尺度とは

認知症の人を介護する中で経験した「良かった」と思う状況、場面、内容に関する 21 項目・4 カテゴリー（介護の意味づけ、介護マスタリー、介護に対する肯定的感情、周囲の支援）からなる評価票です。

■開発の目的

認知症介護の肯定的側面（良かった面）を明らかにすることを目的に開発されました。また、認知症の人を介護しているご家族が答えることで、認知症の人の介護を通して得られた良かったことに気づき、介護に前向きに取り組めるようになることを目的としています。

■記入方法

認知症の人を介護しているご家族が教えてください。1～21 の項目について、**介護を通しての今のあなたの気持ちに、4 点：非常にそう思う～1 点：全くそう思わないで最もあてはまる番号一つに○を付けてください。**

各項目で回答した数字を足して、全項目または各カテゴリーの合計点を出すことができます。点数が高いほど「良かった」ことを経験して実感を得ていることになります。例えば、周囲の支援に 4 点（非常にそう思う）が多くあり、点数が高い場合は、周囲の支援を受けており、それを実感できているということです。

※「19 介護サービスを利用することによりゆとりがもてるようになった」は、介護サービスを利用していない場合は「1: 全くそう思わない」を選択してください。ほかの項目についても、その経験自体がない場合は「1」を選択してください。

■活用方法例

家族介護者が活用する場合

- ▶ 認知症の人の介護を通して得られた良かったことに気づくことができます。
- ▶ 自分の介護状況やその思いを見つめなおすきっかけになります。

介護支援専門員などの支援者が活用する場合

- ▶ 介護負担感などと一緒に評価することで、どこに「負担」を感じていて、どこに「良かった」と感じているのかを把握できます。それにより、負担感を減らし、良かったと感じていることを大切にするための支援方法を考えることができます。また、点数にすることで「負担感」「良かったと感じている程度」の高低がわかります。
- ▶ さらに、その結果をもとにご家族と話すことで、介護についての思いを知るきっかけになります。

【著作権】ウェブで無料公開しています。医療・介護の実践や研究には申請不要で自由にお使いいただけます。ただし文言等の修正は不可です。学会発表や原著論文、総説、教科書には下記文献を引用してください。商用目的の場合は、藤生 (m15711048@gunma-u.ac.jp) までお問い合わせください。

【文献】※研究等でご利用の際には、下記の文献を引用文献としてご記載ください。
Fuju T, Yamagami T, Yamaguchi H, Yamazaki T. Development of the Dementia Caregiver Positive Feeling Scale 21-item version (DCPFS-21) in Japan to recognise positive feelings about caregiving for people with dementia. *Psychogeriatrics* 21(4): 650-658, 2021.

この評価票は、日本医療研究開発機構 (AMED) の認知症研究開発事業 (課題番号 JP19dk0207033) と JSPS 科研費 JP18K12990 のご支援を受けて作成されたものです。
改訂注：2019.7.12 ウェブ公開・2021.7.2 論文掲載に伴い文献等微修正・2021.8.28【著作権】加筆

認知症介護肯定感尺度 21項目版 家族介護者用

1～21 を読んで、認知症の人の介護を通しての今のあなたの気持ちに
最も当てはまる 1～4 の番号一つに○を付けてください。

下記 1～21 の項目は、認知症家族介護者の経験談・専門家の意見・統計解析などによりまとめられた「認知症の人の介護を通して得られた良かったと思う状況、場面、内容」の一覧です。

		全く そう 思わない	あまり そう 思わない	やや そう 思う	非常に そう 思う
1	自分で介護ができて良かった	1	2	3	4
2	対象者との仲が深まった	1	2	3	4
3	対象者への恩返しになる	1	2	3	4
4	対象者がいてくれて嬉しい	1	2	3	4
5	対象者から学ぶことがあった	1	2	3	4
6	私の人生にも意味があると思えるようになった	1	2	3	4
7	根気強さがついた	1	2	3	4
8	対象者の新しい一面を発見できた	1	2	3	4
介護から見出す意味の実感 (介護の意味づけ)		1～8の合計			点
9	対象者をほめるようになった	1	2	3	4
10	同じ質問を繰り返し聞かれても、初めて聞いたように答えるようになった	1	2	3	4
11	対象者の話をよく聞くようになった	1	2	3	4
12	少しでもいい介護ができるように色々勉強するようになった	1	2	3	4
13	対象者の様々な行動 (もの忘れ、徘徊など) にうまく対応できるようになった	1	2	3	4
介護ができる自信 (介護マスタリー)		9～13の合計			点
14	対象者の笑顔がみられるとうれしい	1	2	3	4
15	対象者がスムーズになにか (着替えや食事など) ができているとうれしい	1	2	3	4
16	対象者が落ち着いていると安心する	1	2	3	4
介護で得られた喜び (介護に対する肯定的感情)		14～16の合計			点
17	家族の認知症の理解が深まった	1	2	3	4
18	同じ立場の人と話すと気持ちが楽になる	1	2	3	4
19	介護サービスを利用することによりゆとりがもてるようになった <small>※介護サービスを利用していない場合は「1」を選択</small>	1	2	3	4
20	近隣の方の認知症の理解が深まった	1	2	3	4
21	頼りになる医療・福祉専門職種に出会えた	1	2	3	4
周囲の支援の充実感 (周囲の支援)		17～21の合計			点
介護で得られた良かったことの実感 (認知症介護肯定感)		1～21の合計			点